生み出す商品に誇りを持つ、真摯なものづくりを。

18
2021

森原聰
取締役担当部長 / 営業ほか管理全般

「生地は生き物であり、扱いが非常に難しいものです。しかし提供するものは常に安定したものでなければなりません。その技術はマニュアル化できるものではなく、経験を積み上げていくことによってのみ培われるものだと思っています。」と語るのは工場の責任者である森原さん。工場の運営管理のほか、営業も担当しています。

「現在の主な仕事はお客様と打ち合わせてお仕事を頂く営業です。当社が作り出す商品がお客様、ひいてはエンドユーザー様の望まれるクオリティに少しでも近づくよう心掛けています。これまでに材料の仕入れ、現場での加工、総務・事務、試験室と会社業務を幅広く経験してきました。仕入れの際に培った人脈、加工での経験や知識等、現在の営業の業務に役立っています。異なる業務をする際はとまどいもありましたが、携わってきた業務すべてが役に立っており、無駄なことは一つもありません。」

今後は、国内のみならず海外のマーケットでも幅広く通用することを証明できるよう、新しいものづくりにも挑戦していきたいそうです。

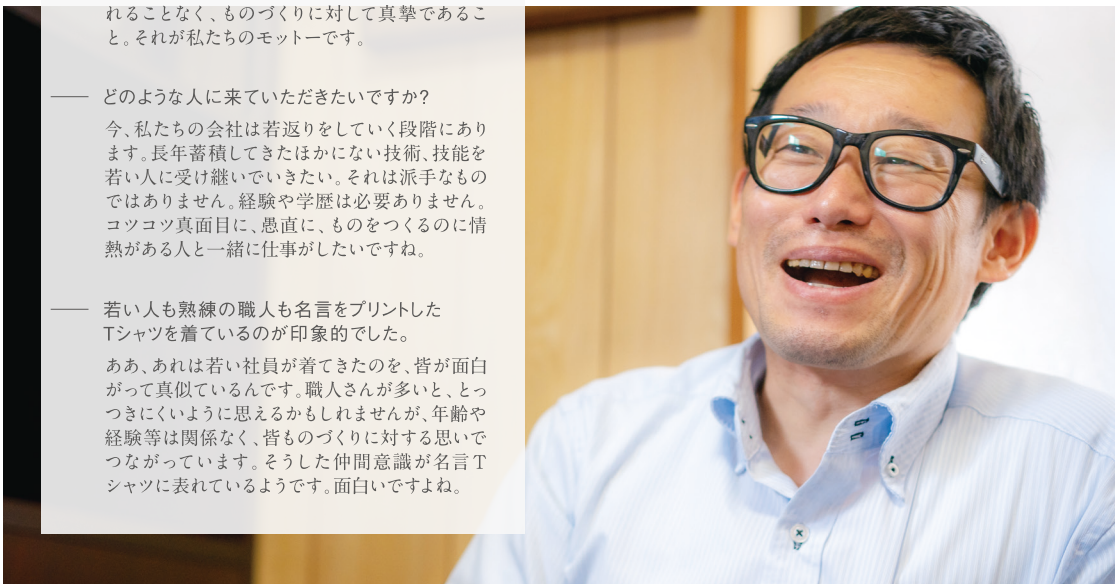
もっと生の声 Q&A

思い出に残っているエピソードを教えてください。

世界に冠たるトップブランドが急に工場視察したいと言われた時に、工場長が一言「フランス饅頭はいらん！」と一瞬で断ったことですね。びっくりしました（笑）。オーダーはいただいていたので、当然仕事はきっちりさせていただきましたが、工場はものづくりの真剣勝負の場です。トップブランドだからといって、現場のものづくりに影響するようなことはやらない。ブランドや値段に影響されることなく、ものづくりに対して真摯であること。それが私たちのモットーです。

どのような人に来ていただきたいですか？

今、私たちの会社は若返りをしていく段階にあります。長年蓄積してきたほかにない技術、技能を若い人に受け継いでいきたい。それは派手なものではありません。経験や学歴は必要ありません。コツコツ真面目に、愚直に、ものをつくるのに情熱がある人と一緒に仕事がしたいですね。

若い人も熟練の職人も名言をプリントしたTシャツを着ているのが印象的でした。

ああ、あれは若い社員が着てきたのを、皆が面白がって真似ているんです。職人さんが多いと、とっつきにくいように思えるかもしれませんが、年齢や経験等は関係なく、皆ものづくりに対する思いでつながっています。そうした仲間意識が名言Tシャツに表れているようです。面白いですよね。